

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪城南女子短期大学
設置者名	学校法人城南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	現代生活学科	夜・通信	-	-	154	154	7	-
	総合保育学科	夜・通信	-	-	87	87	7	-
	人間福祉学科	夜・通信	-	-	49	49	7	-
	専攻科 介護福祉専攻	夜・通信	-	-	60	60	4	-
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページの下記アドレスに掲載している。 <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 (該当ありません)
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪城南女子短期大学
設置者名	学校法人城南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページの下記アドレスに掲載している。  
<https://tandai.jonan.jp/about/release/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所 代表	令和2年7月10日～ 令和6年7月9日	財務
非常勤	株式会社 従業員	令和2年7月10日～ 令和6年7月9日	人事労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪城南女子短期大学
設置者名	学校法人城南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学のすべての授業科目について、シラバスに、授業の概要、学生の到達目標、授業計画、成績評価の方法・基準、その他事項が記載されており、シラバスを製本し、毎年度オリエンテーション時に学生に配付し、ホームページにも公表している。</p>	
<p>(1) 授業計画(シラバス)の作成過程</p> <p>① 10月頃の教務委員会で、次年度のシラバスに記載する事項や、各教員への依頼事項等についての検討や確認の実施。</p> <p>② 12月下旬に、①を踏まえて専任教員、非常勤講師へ執筆依頼。</p> <p>③ 1月下旬までに、各教員が所定の書式でシラバスを作成する。</p> <p>④ 2月の教務委員会で記述内容などについて確認し、必要に応じて各教員に修正依頼。</p> <p>⑤ ④と同時に、各教員による修正・校正。</p> <p>⑥ 2月末に、印刷業者へ最終原稿引き渡し。</p> <p>⑦ 3月下旬に製本「授業要覧」及びPDFファイルを納品。</p>	
<p>(2) 授業計画の作成・公表時期</p> <p>各教員は、12月下旬～1月下旬の1か月間で授業計画の作成を行う。</p> <p>学生には、毎年度3月末に行われるオリエンテーションで製本したシラバスを配付する。また、同PDFファイルをホームページに掲載する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページの下記アドレスに掲載している。</p> <p><a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の成績は、担当教員が試験等により評価する。また学生の学修成果を学期の途中にも確認するために、研究発表、小テスト、授業内レポート、提出物や作業の出来映え等々を評価に含めることを、多くの科目のシラバスに定めている。各授業科目の3分の2以上の時間数の出席を単位認定の要件として学則に定め、成績評価の方法・基準をシラバスに示した上で成果を評価している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学はGPA制度を、学生の学修状況を客観的に示す指標となる値として採用し、意義および算出方法を学生便覧に掲載している。</p> <p>GPAの分布状況を把握するために、各学期末にGPA分析表を作成し、学修支援等に活用している。</p> <p>グレード・ポイント (GP)</p> <p>S (秀) 4ポイント</p> <p>A (優) 3ポイント</p> <p>B (良) 2ポイント</p> <p>C (可) 1ポイント</p> <p>F (不可) 0ポイント</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAは、次の式により計算し、小数第二位を四捨五入する。</p> <p>入学以来、修得した各科目の(単位数×ポイント)の合計 ÷ 入学以来、履修登録した各科目の単位数合計</p> <p>不合格(59～0点)の科目も「履修登録科目の単位数の合計」に含める。 また科目を再履修した場合は、初回および再履修時の両方の履修登録単位数を、「履修登録科目の単位数の合計」に含める。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページの下記アドレスに掲載している。 <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシーを策定し、ホームページや学生便覧に掲載することにより公表している。同ポリシーにもとづき卒業判定を教授会にて行い、卒業に必要な修得単位数を踏まえ適切に卒業認定している。

ディプロマ・ポリシーに添ったカリキュラム構成をカリキュラムマップ等で、新年度オリエンテーション時に学生に示し、卒業認定に至る科目系統を学生が自ら把握することにより、主体的に学修できるようにしている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本学ホームページ、学生便覧に掲載している。  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪城南女子短期大学
設置者名	学校法人城南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページの下記アドレスに掲載している。 <a href="https://www.jonan.jp/disclosure/">https://www.jonan.jp/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書 対象年度: 令和2年度)
公表方法: <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a>
中長期計画(名称: 対象年度: )
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://tandai.jonan.jp/jaca/">https://tandai.jonan.jp/jaca/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://tandai.jonan.jp/jaca/">https://tandai.jonan.jp/jaca/</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代生活学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレスに掲載している。 <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>豊かな教養と生涯にわたって学び続ける力を持ち、さまざまな課題に自ら対処できる力を備えた人材を育成する。そのうえで、調理・製菓の現場が期待する専門的知識・技能を有する人材、およびビジネス現場における情報活用力と実践的な表現力・対応力を身につけた人材を育成する。《入学定員》 80名 《収容定員》 160名</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載 <a href="https://tandai.jonan.jp/about/policy/">https://tandai.jonan.jp/about/policy/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>《ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）》</p> <p>本学は、建学の精神「自主自律」「清和気品」の二訓のもとに、豊かな人間性と専門性を兼ね備えた社会の第一線で活躍できる女子力を養うことを使命として、以下の基本方針に基づき人材の養成・育成を行います。そして、これらの方針に基づいて設定された教育課程を修め、基準となる科目・単位数を修得した学生に学位（短期大学士）を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自律した個人として主体的に行動するために必要な総合的な教養・常識、社会性、対人関係構築力（コミュニケーション力）を備えるとともに、多様な資格取得等による専門的知識・技能を身につけている。</li> <li>2. 自ら課題を発見してその解決に向け探求し、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等、確かな実践力を身につけている。</li> <li>3. 学習した成果を自ら点検・評価できる自修力、女性として自立した芯の強さ、穏やかさ、優しさとともに、多様な人々と協働して学ぶ態度を兼ね備えている。</li> <li>4. 現代生活学科では、生涯にわたって学び続ける力を持ち、さまざまな立場の人を思いやり、ともに成長することに心がけられる人材を育成します。また広範な現場・場面で期待される知識・技能・判断力・対応力を有する人材を育成します。</li> </ol>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載 <a href="https://tandai.jonan.jp/about/policy/">https://tandai.jonan.jp/about/policy/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>《カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）》</p> <p>本学はディプロマ・ポリシーに基づき、以下のような教育課程を編成します。この教育課程は、複雑化した現代社会を生きる女性にとって必要となる共通基礎科目と専門的知識・技能を身につける学科科目で構成されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通基礎科目では、本学の建学の精神である「自主自律」「清和気品」の確立と醸成を目標とし、社会人としてのマナーや日本語の基礎力、社会生活に必要な知識を身につけます。</li> <li>2. 学科科目では、国家資格・免許取得に必要な科目を適切に設けるとともに、各学科の特色に応じた科目を配置し、修学を促します。また、地域社会や企業施設等と密接につながった、アクティブ・ラーニングを実現し、学生が主体的に考え、問題を解決する能力を養います。</li> </ol> <p>現代社会に対応し、地域社会に貢献できる人材を育成するため、学科基礎科目を通じて、必要な知識と修学方法を習得し、知識を活用するカリキュラムを編成します。また、インターンシップや学外実習、公的機関・企業との連携の場を通じて、コミュニケーション力（対人関係構築力）を養い、自ら課題を発見し、解決する思考力・判断力・表現力を習得</p>

します。各エリアにおいては高度な専門知識や技能を習得し、資格取得に備えるほか、少人数制ゼミ教育などを通じて、卒業後も継続して学ぶ力を養成します。

3. 学習成果の評価は学生の学習到達度に応じて、厳正に評価を行います。学生自身が自分の学びを主体的に評価できる工夫をします。

4. 本学のカリキュラムは、常にその学習成果とともに、自己点検活動やFD・SD活動を通じて、不断に改善・工夫に努めます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/>）

（概要）

《アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）》

本学は、ディプロマ・ポリシーの人材養成の目的に即した資質・能力や意欲、適性を重視し、多様な入学者選抜方式を通じて、以下のような学生を受け入れます。

1. 「清和気品」「自主自律」という本学の建学の精神に共感し、本学で学ぶことで人間的にも成長したいという強い目的意識をもつ学生。

2. 自ら課題を発見してその解決に向けて積極的に活動したいという意欲を持つ学生。

3. 高度で専門知識や技能、様々な課題を解決する力を身に付けたい学生。広範な社会で活躍するための基本的能力とキャリアを自らも成長することで積極的に身に付けたい学生。

学部等名 総合保育学科

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレスに掲載している。  
<https://tandai.jonan.jp/about/release/>）

（概要）

教育・保育・福祉の現場に通用する実践力のある人材養成を目指していく。具体的には以下の力を身につけることを求めるものとする。

「現場に即した専門知識・技能」「自分の持ち味を十分に発揮できる自己表現力」「他者との協働・連携が取れるようなチームワーク力」「課題解決へ向けて自ら働きかける実行力と判断力」《入学定員》160名《収容定員》320名

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/>）

（概要）

《ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）》

本学は、建学の精神「自主自律」「清和気品」の二訓のもとに、豊かな人間性と専門性を兼ね備えた社会の第一線で活躍できる女子力を養うことを使命として、以下の基本方針に基づき人材の養成・育成を行います。そして、これらの方針に基づいて設定された教育課程を修め、基準となる科目・単位数を修得した学生に学位（短期大学士）を授与します。

1. 自律した個人として主体的に行動するために必要な総合的な教養・常識、社会性、対人関係構築力（コミュニケーション力）を備えるとともに、多様な資格取得等による専門的知識・技能を身につけている。

2. 自ら課題を発見してその解決に向け探求し、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等、確かな実践力を身につけている。

3. 学習した成果を自ら点検・評価できる自修力、女性として自立した芯の強さ、穏やかさ、優しさとともに、多様な人々と協働して学ぶ態度を兼ね備えている。

4. 子どもが好きで子どもに関わる仕事をめざし、子どもについて学び、子供に真摯に向き合える人材を育成します。また、多くの実践現場、表現活動の場に積極的に参加し、自己表現力および実践力を身に付けた人材を育成します。



教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 本学ホームページに掲載  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/> ）

（概要）

《カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）》

本学はディプロマ・ポリシーに基づき、以下のような教育課程を編成します。この教育課程は、複雑化した現代社会を生きる女性にとって必要となる共通基礎科目と専門的知識・技能を身につける学科科目で構成されます。

1. 共通基礎科目は、本学の建学の精神である「自主自律」「清和気品」の確立と醸成を目標とし、社会人としてのマナーや日本語の基礎力、社会生活に必要な知識を身につけます。

2. 学科科目では、国家資格・免許取得に必要な科目を適切に設けるとともに、各学科の特色に応じた科目を配置し、修学を促します。また、地域社会や企業施設等と密接につながった、アクティブ・ラーニングを実現し、学生が主体的に考え、問題を解決する能力を養います。

実践力のある人材養成のために、学んだ知識や技術を活用できる確かな判断力、自己表現力、自己判断力を養成します。そのために、専門的知識や実践的な保育技術に加えて豊かな教養・社会的常識を盛り込んだカリキュラムを編成します。また修得した知識と技術の応用力を高めるためにインターンシップやボランティア、学外実習などの実践の場を多く設け、その場を通して対人関係構築力を身につけ、複雑な現代社会の保育問題に対応できる保育者を養成することを目標とします。

3. 学習成果の評価は学生の学習到達度に応じて、厳正に評価を行います。学生自身が自分の学びを主体的に評価できる工夫をします。

4. 本学のカリキュラムは、常にその学習成果とともに、自己点検活動やFD・SD活動を通じて、不断に改善・工夫に努めます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法： 本学ホームページに掲載  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/> ）

（概要）

《アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）》

本学は、ディプロマ・ポリシーの人材養成の目的に即した資質・能力や意欲、適性を重視し、多様な入学者選抜方式を通じて、以下のような学生を受け入れます。

1. 「清和気品」「自主自律」という本学の建学の精神に共感し、本学で学ぶことで人間的にも成長したいという強い目的意識をもつ学生。

2. 自ら課題を発見してその解決に向けて積極的に活動したいという意欲を持つ学生。

3. 子どもが好きで子どもに関わる仕事をめざし、子どもについて学び、自らも成長したいという学生。学んだ知識や技能を活用できる力を積極的活動により身に付け、保育者として多くの問題に対応できる人材になりたい学生。

学部等名 人間福祉学科

教育研究上の目的（公表方法： 本学ホームページの下記アドレスに掲載している。  
<https://tandai.jonan.jp/about/release/> ）

<p>(概要)</p> <p>ホスピタリティ精神を醸成し、様々な科学に依拠した介護の知識や技術力を修得する。そして、尊厳を守るための「人間力」、人や暮らしを支える「福祉力」を兼ね備えた介護福祉士に育成していく。とりわけ、対人援助、行動実践、自己表現・自己管理に関して応用的な能力があり、且つリーダーを目指せる資質のある「介護女子」を育てていく。《入学定員》 30名 《収容定員》 30名</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載  <a href="https://tandai.jonan.jp/about/policy/">https://tandai.jonan.jp/about/policy/</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>《ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）》</p> <p>本学は、建学の精神「自主自律」「清和気品」の二訓のもとに、豊かな人間性と専門性を兼ね備えた社会の第一線で活躍できる女子力を養うことを使命として、以下の基本方針に基づき人材の養成・育成を行います。そして、これらの方針に基づいて設定された教育課程を修め、基準となる科目・単位数を修得した学生に学位（短期大学士）を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自律した個人として主体的に行動するために必要な総合的な教養・常識、社会性、対人関係構築力（コミュニケーション力）を備えるとともに、多様な資格取得等による専門的知識・技能を身につけている。</li> <li>2. 自ら課題を発見してその解決に向け探求し、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等、確かな実践力を身につけている。</li> <li>3. 学習した成果を自ら点検・評価できる自修力、女性として自立した芯の強さ、穏やかさ、優しさとともに、多様な人々と協働して学ぶ態度を兼ね備えている。</li> <li>4. ホスピタリティ精神を醸成し、様々な科学に依拠した介護の知識や技術力を修得する。そして、尊厳を守るための『人間力』、人や暮らしを支える『福祉力』を兼ね備えた介護福祉士に育成していく。とりわけ、対人援助、行動実践、自己表現・自己管理に関して応用的な能力があり、且つリーダーを目指せる資質のある『介護女子』を育てていく。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載  <a href="https://tandai.jonan.jp/about/policy/">https://tandai.jonan.jp/about/policy/</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>《カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）》</p> <p>本学はディプロマ・ポリシーに基づき、以下のような教育課程を編成します。この教育課程は、複雑化した現代社会を生きる女性にとって必要となる共通基礎科目と専門的知識・技能を身につける学科科目で構成されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通基礎科目は、本学の建学の精神である「自主自律」「清和気品」の確立と醸成を目標とし、社会人としてのマナーや日本語の基礎力、社会生活に必要な知識を身につけます。</li> <li>2. 学科科目では、国家資格・免許取得に必要な科目を適切に設けるとともに、各学科の特色に応じた科目を配置し、修学を促します。また、地域社会や企業施設等と密接につながった、アクティブ・ラーニングを実現し、学生が主体的に考え、問題を解決する能力を養います。</li> </ol> <p>人間の健康や暮らしを支える知識や技術を学び、介護女子としての品格や対人援助技術、行動実践力を修得する為のカリキュラムを編成します。卒業後も様々な領域で活躍できるキャリアアップもプランニングします。直接指導、双方向コミュニケーションを重視したアクティブ・ラーニングを授業の柱とします。介護実習やデュアルという体験型演習科目を配置し、専門性・人間性の高い介護福祉士のリーダーやケアマネージャーを目指すことを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 学習成果の評価は学生の学習到達度に応じて、厳正に評価を行います。学生自身が自分の学びを主体的に評価できる工夫をします。</li> <li>4. 本学のカリキュラムは、常にその学習成果とともに、自己点検活動やFD・SD活動を通じて、不断に改善・工夫に努めます。</li> </ol>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページに掲載  
<https://tandai.jonan.jp/about/policy/>）

（概要）

《アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）》

本学は、ディプロマ・ポリシーの人材養成の目的に即した資質・能力や意欲、適性を重視し、多様な入学者選抜方式を通じて、以下のような学生を受け入れます。

1. 「清和気品」「自主自律」という本学の建学の精神に共感し、本学で学ぶことで人間的にも成長したいという強い目的意識と意欲をもつ学生。
2. 自ら課題を発見してその解決に向けて積極的に活動したいという意欲を持つ学生。
3. 人と接することが好きで介護に関わる仕事をしたいという学生。人との出会いや関わりを大切にできる学生。介護に関する知識を深め、国際的にも社会的にも貢献しようという意欲のある学生。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページの下記アドレスに掲載している。

<https://tandai.jonan.jp/about/release/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
人間福祉学科	—	3人	2人	3人	0人	0人	8人
現代生活学科	—	3人	3人	1人	0人	1人	8人
総合保育学科	—	4人	3人	5人	0人	0人	12人
専攻科介護福祉専攻	—	3人	2人	3人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		78人					78人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業の質の更なる向上のため、教員による授業の相互参観活動をFDの一環として、学期毎に約1ヶ月間の実施期間を設定して活動している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間福祉学科	30人	0人	0.0%	30人	15人	50.0%	人	人
現代生活学科	80人	52人	65.0%	160人	91人	56.9%	人	人
総合保育学科	160人	104人	65.0%	320人	234人	73.1%	人	人
専攻科介護福祉専攻	60人	5人	8.3%	60人	5人	8.3%	人	人
合計	330人	161人	48.8%	570人	345人	60.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間福祉学科	9人 (100%)	0人 (0.0%)	9人 (100%)	0人 (0.0%)
現代生活学科	52人 (100%)	0人 (0.0%)	35人 (67.3%)	17人 (32.7%)
総合保育学科	143人 (100%)	12人 (8.4%)	122人 (85.3%)	9人 (6.3%)
専攻科介護福祉専攻	6人 (100%)	0人 (0.0%)	6人 (100%)	0人 (0.0%)
合計	210人 (100%)	12人 (5.7%)	172人 (81.9%)	26人 (12.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 保育所、幼稚園、福祉施設、一般企業				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
現代生活学科	52人 (100%)	52人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
総合保育学科	148人 (100%)	140人 (94.6%)	0人 (0%)	8人 (5.4%)	0人 (0%)
人間福祉学科	10人 (100%)	9人 (90.0%)	0人 (0%)	1人 (10.0%)	0人 (0%)
専攻科福祉専攻	6人 (100%)	6人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	216人 (100%)	207人 (95.8%)	0人 (0%)	15人 (6.9%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 本学のすべての授業科目について、シラバスに、授業の概要、学生の到達目標、授業計画、成績評価の方法・基準、その他事項が記載されており、シラバスを製本し、毎年度オリエンテーション時に学生に配付し、ホームページにも公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)  
授業科目の成績は、担当教員が試験等により評価する。各授業科目の3分の2以上の時間数の出席を単位認定の要件として学則に定め、成績評価の方法・基準をシラバスに示した上で成果を評価している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	現代生活学科	64単位	有	単位
	総合保育学科	62単位	有	単位
	人間福祉学科	63単位	有	単位
	専攻科福祉専攻	59単位	有	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：成績通知書に掲載している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：学生の国家資格取得状況をホームページに掲載している。		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://tandai.jonan.jp/about/release/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	人間福祉学科	1,020,000 円	300,000 円	円	
	現代生活学科	1,020,000 円	300,000 円	円	
	総合保育学科	1,020,000 円	300,000 円	円	
	専攻科介護福祉専攻	720,000 円	200,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 全学年において担任制度をとっており、学生の修学支援をきめ細かく行っている。また、学生の取得希望資格や進路希望、実習先やインターンシップ先からの評価等、様々な個人情報をもとに、担任による学生面談を適宜行っている。 加えて、キャリア実習サポート室により各種奨学金取得に関する修学支援を行なっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 「キャリア実習サポート室」で一般企業や福祉施設、幼稚園、保育所等への就職を希望する学生への支援、大学への編入学、専門学校への進学を希望する学生への支援を担当している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室に、臨床心理士を配置し、担任等の教員と連携して学生の心身の健康等に係る支援に当たっている。併せて臨床心理士は教員の学生指導における助言も行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <a href="https://tandai.jonan.jp/about/release/">https://tandai.jonan.jp/about/release/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F227310108428
学校名	大阪城南女子短期大学
設置者名	学校法人城南学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		86人	83人	92人
内 訳	第Ⅰ区分	51人	48人	
	第Ⅱ区分	22人	23人	
	第Ⅲ区分	13人	12人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				94人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	17人
計	0人	0人	17人
(備考) 17名はすべて、返還不要の廃止者となります。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	24人	17人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	24人	17人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。